

# 第 6 回 公 開 講 座

日 時 2016年 3月8日 (火) 18:00~20:00

場 所 ヒューマンわーくぴあ徳島5F大ホール

[徳島市昭和町3丁目35-1 徳島県労働福祉会館 別館]

参加無料

内 容 連続講座『森永ひ素ミルク中毒事件の被害者救済活動、食の安全に関すること<sup>パート</sup>Ⅱ』

講 師 江口 哲生 氏 (森永ひ素ミルク中毒の被害者を守る会  
全国本部常任理事/徳島県本部委員長)



森永乳業徳島工場に端を発し、1万3千人余の乳幼児に被害をもたらし、当時だけでも130人が死亡するという世界に類のない食品公害事件「森永ヒ素ミルク中毒事件」。事件から60年経った今も、712人が障害や後遺症に苦しんでいます。食の安全が問われる昨今において事件を風化させないために、元公立学校教諭であり「被害者を守る会」の全国常任理事をされている江口哲生さんを講師に招き、ひ素ミルク中毒被害者の救済活動について、そして食品事件の根絶へ向けた次世代へのメッセージを連続2回の講座にて語って頂きます。



「守る会」が発刊  
した60年記念誌



●徳島県労働福祉会館は、一般法人への移行認可に伴い公益法人制度改革関連三法に基づく公益目的事業として「社会運動資料センター事業」を昨年度よりスタートさせました。●この「とくしま社会運動資料センター」の公開講座を上記の通り開催いたします。●社会運動はその性格上、一定の役割を果たすと運動母体が消散し、運動に関わる様々な資料は散逸するものも数多くあります。●当会館は県内唯一の勤労者センターとしてこうした貴重な文献資料を集積し、広く県民の皆様へ閲覧開放することにより、本事業が勤労者福祉の発展に寄与することを目的としております。